

令和7年度 事業計画

令和7年6月1日～令和8年5月31日

公益社団法人 日本カーリング協会

1. 総会・理事会等開催
 - (ア) 社員総会の開催
 - ① 定時社員総会の開催 令和7年8月2日開催予定
 - (イ) 理事会の開催
2. 監査会の開催
 - ① 令和6年度 会計監査（東邦監査法人） 令和年7月8日～10日
 - ② 令和6年度 監査会 令和年7月16日（予定）
3. 上部団体対応
 - ① 日本オリンピック委員会（JOC-NF 連絡会議、NF 支援センター会議、WUG 派遣 他）
 - ② 日本スポーツ協会（公認指導者登録、新型コロナウイルス対応 他）
 - ③ 日本スポーツ振興センター（スポーツ振興助成金、アスリート個人助成、HPS 事業）
 - ④ JADA（ドーピング検査事業説明会 他）
4. 全国事務局長会議の開催
令和7年9月 Japan Sport Olympic Square 会議室およびオンラインにて開催予定
5. 補助事業の申請・実施・報告業務
6. 広報・マーケティング活動
総務委員会、マーケティング委員会と連携して以下を実施
 - ① ホームページリニューアル
 - ② ホームページ、SNS の更新維持作業、記者会見の開催（日本代表チーム会見 他）
 - ③ スポンサーシッププログラムに沿った協賛対応
7. 協賛企業対応
全農、JAL、ナブテスコ、ミズノ、日本マスク、大会協賛各社
8. 世界カーリング連盟（WCF）関係
国際大会代表チーム派遣業務等
9. 会計業務
日常会計業務、月次(四半期)試算表作成、決算業務、納税、給与支払い、社会保険手続き 他
10. 競技者登録・登録証発行

1. 目的

財務委員会は本協会財務の健全性を確保するため、財政的な基盤を充実し、安定的に維持する必要があります。毎年度の予算を立案・決算に関する審議を精査し、理事会に提案する事を目的とする。

2. 委員一覧（敬称略・順不同）◎：委員長 ○：副委員長

◎石田順一、○大澤明美、酒巻 智、初瀬智彦、松本幸彦、立野和則、小高正嗣（事務局）

3. 令和 7 年度活動計画

- ・財務委員会の開催（7月、9月、12月、2月、3月、4月）
- ・予算案の作成、各委員会への予算折衝（折衝会議を3月末～4月中旬に予定）
- ・予算執行の監督、四半期毎の資産状況の確認と必要な財務施策の立案と実施
- ・補正予算案の作成
- ・決算案の作成
- ・財務構造の分析と中長期の財務計画の立案
- ・寄付金の税額控除の対象となる公益法人を目指すための活動
- ・協会への寄付金を個人・企業から募る活動を広める
- ・諸謝金に対する適格請求書等保存方式への対応の検討

4. 令和 7 年度予算案

会議等をオンラインで行うため当初予算は要求しない。必要に応じて補正予算申請を行う。

1、委員会の開催

- ・年6回程度の web 会議開催を基本とし、それ以外にも必要に応じ適宜開催。

2、スポーツ庁制定「スポーツ団体ガバナンスコード」への対応

- ・2019年に制定された「スポーツ団体ガバナンスコード」による毎年の自己説明及び公表に対応。
- ・令和5年度（2023年）の適合性審査における指摘事項への対応。

3、中長期計画の進捗管理

- ・策定、公表された「中長期計画」についてワーキンググループと共に各年度の目標、達成の進捗状況の精査

4、協会運営体制に沿った運営実務の整備

- ・実務に沿った規程類の策定及び改訂。
- ・実務の効率化への対応。

5、協会 Web サイトの改修と会員管理等のシステム化

- ・電子化の推進
- ・年度前半にて要件の整理と発注先の選定。年度後半に発注

6、危機管理マニュアル等の整備

- ・危機管理委員会の立ち上げ準備
- ・協会関係者向け、チーム関係者向けのマニュアル、フローチャートの作成。デザイナー外注

7、有料観戦大会に関する事業検証

- ・日本選手権のアリーナ開催等におけるマーケティング収益事業の検証等、マーケティング委員会へ事業検証面等からの協力。

8、登録証の発行（事務局依頼）

- ・登録料の振込が確認された加盟協会から随時発行。

9、その他

- ・全国事務局長会議（JCA 主催）に委員長又は副委員長を派遣し、事務レベルでの提案等について検討、改善等協力を行う。
会議での意見や提案等については理事会へ報告する。

令和7年度 指導普及委員会 事業計画

指導普及委員会委員長 中村 義人

1. 委員会の開催 【共通事業】

- (1) 第1回委員会(令和7年6月) 令和6年度事業実績、令和7年度事業実施ほか
 - (2) 第2回委員会(令和7年8月) 令和7年度事業の進捗ほか
 - (3) 第3回委員会(令和7年12月) 令和7年度事業の進捗、令和8年度事業実施方針ほか
 - (4) 第4回委員会(令和8年2月) 令和7年度事業計画(案)、令和8年度収支予算(案)ほか
 - (5) 第5回委員会(令和8年4月) 総会提出事項ほか
- その他、必要に応じてWebミーティングを実施

2 公認カーリングコーチ養成講習会 【指導事業】

- (1) カーリングコーチ1 2か所(2泊3日)

開催地: 帯広/青森

時期: 10月3日(金)~5日(日)/10月24日(金)~26日(日)

- (2) カーリングコーチ2 1回(1泊2日×前後期)

開催地: 軽井沢

時期: 前後期(前期: 8月2日(土)~3日(日)、後期: 12月27日(土)~28日(日))

3 カーリング指導者ステップアップ講習会(更新研修) 【指導事業】

対象: 公認カーリング指導者、JCA登録会員

方法: WEB(座学)

時期: 令和7年12月頃

受講料: 指導員2,000円、その他3,000円(予定)

4 JCA 功労章及びJSPO 永年表彰 【指導事業】

- (1) JCA 功労章(3名以内)

加盟都道府県協会に推薦を依頼(12~翌年1月)

指導普及委員会において協議(2月)

審査委員会(理事会)において審査・決定(3~4月)

社員総会において表彰(8月)

- (2) JSPO 永年表彰

令和6年度のJCA 功労章受章者をJSPOに推薦(7月)

→(1)のJCA 功労章受章者 多田国康氏

JSPO 永年表彰受賞決定(11月頃)

5 JSPO 指導者資格の受講希望調査・推薦 【指導事業】

スポーツドクター 令和7年度分は2~3月

アスレティックトレーナー 同上

スポーツデンティスト 同上

- 6 カーリング指導者マニュアル改訂事業 【指導事業】
第7版編集（原稿執筆、印刷）
- 7 OCT（オリンピック・セレブレーション・ツアー）カーリングスクール【普及事業】
期 間：令和8年3月頃
場 所：盛岡市ほか
講 師：未定（WCが選定）
- 8 JCA カーリングスクール 【普及事業】
（1）JCA カーリングスクール福岡2025
期 日：令和7年7月5日（土）
会 場：オーヴィジョンアイスアリーナ福岡
主 催：（公社）日本カーリング協会、福岡県カーリング協会
主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）ほか
（2）JCA カーリングスクール横浜 2025
期 日：令和7年8月30日（土）
会 場：横浜銀行アイスアリーナ
主 催：（公社）日本カーリング協会ほか
主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）ほか
- 9 第6回全日本小学生カーリング選手権大会 【普及事業】
時 期：令和7年12月20日（土）、21日（日）（見込み）
会 場：横浜銀行アイスアリーナ
主 催：（公社）日本カーリング協会、日刊スポーツ新聞社（見込み）
主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）、東京都カーリング協会ほか
- 10 第4回全日本中学生カーリング選手権大会 【普及事業】
時 期：令和7年7月25（金）、26日（土）、27日（日）予定
会 場：MGC 三菱ガス化学アイスアリーナ
主 催：（公社）日本カーリング協会
主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及）、新潟県カーリング協会
- 11 JCA カーリング指導普及活動支援プログラム 【普及事業】
5地区程度
- 12 指導普及備品貸し出し 【共通事業】
（1）カーリングブラシ
（2）フロアーカール
- 13 アスリート委員会事業への協力【普及事業】
（1）ジュニアカーリング講座
・事業内容：オンラインカーリング講座

- ・対 象 者：日本カーリング協会に登録する（または登録予定がある）21 歳以下の選手
- ・開催日時：未定
- ・参 加 費：無料 ※募集定員100名
- ・講 師：アスリート講師（未定）

1 4 指導者養成ワーキング

カーリング指導者を育成していくため、育成方針、JCA 指導者制度、コーチ育成カリキュラム等について、関係委員会と協力して見直しを進める。

令和7年度 競技委員会 事業計画

競技委員会 委員長 清水 淳一郎

- 日本選手権大会その他の競技大会の開催
- 競技力向上事業の実施及び調査研究
- 審判員の資格認定及び講習会の開催
- 国際競技大会等の開催並びに国際競技大会へのスタッフ参加者の選定及び派遣
- アイスメイクの技術開発及び検定・講習会の開催

① 競技委員会の開催

- 第1回委員会(Web)
日 時：2025年6月 日 ()
- 第2回委員会(Web)
日 時：2025年9月 日 ()
- 第3回委員会 (Web)
日 時：2025年10月 日 ()
- 第4回委員会 (Web)
日 時：2026年 1月 日 ()
- 第5回委員会 (Web)
日 時：2026年 3月 日 ()
- 第6回委員会 (Web)
日 時：2026年 5月 日 ()
- 必要に応じWeb会議を開催
- 大会報告委員会の開催

② 競技運営研修会・運営マニュアル作成事業

- 競技運営研修会 (web)
日 時：随 時
- 大会公式記録作成データ作成 (電子版)
- 大会運営マニュアル作成
- 競技情報 Web 管理システム使用料 (Web ラインナップ等)

③ 審判員検定講習会

- A級検定講習会
開催日程：2025年6月21日(土)～22日(日)
開催場所：青森県 青森市

- A級実技検定講習会
開催日程：各日本選手権大会にて

開催場所：各大会開催地

- B級検定講習会～（3回開催予定）

≪第6回日本ミックスカーリング選手権大会≫

開催期間：2025年8月21日（木）～24日（日）

開催場所：長野県：軽井沢町 軽井沢アイスパーク

≪第16回全日本大学対抗カーリング選手権大会≫

開催期間：2025年 12月4日（木）～12月7日（日）

開催場所：青森県：青森市 オカでんアリーナ

≪第34回日本ジュニアカーリング選手権大会≫

開催期間：2026年 3月17日（火）～22日（日）

開催場所：北海道：札幌市 どうぎんカーリングスタジアム

- C級検定講習会

オンライン開催×2回、（8月・希望時期に応じ）

希望する地域に応じた地域での開催（開催地の要望による日程）

④ 審判員研修会

- A級審判員研修会

開催日程：2025年7月12日（土）

開催場所：札幌市（北海道立総合体育センター（北海きたえーる））

※出席審判員の旅費を支給（予算の範囲内支給）

- B級、C級審判員研修会（コンプライアンス研修を含む）

開催日程：2025年 9月・10月（金・土・日） 計 6回開催予定

開催場所：オンライン開催

⑤ 審判部事業

- 審判部会議

集合会議

開催日程：2025年7月13日（日）

開催場所：札幌市（北海道立総合体育センター（北海きたえーる））

Web会議（随時開催）

- A級審判員派遣研修

派遣大会：未定（WC主催大会へ派遣）審判部において検討

開催日程：調整中

派遣場所：調整中

- WC国際審判員養成研修 WCFアカデミーの受講の促進

- 国際審判員養成事業として海外講師の招聘

開催日程：2025年8月22日/23日/24日 のいずれか2日間

開催場所：長野県軽井沢町（軽井沢アイスパーク（日本ミックスと同時開催））

- ・審判員養成講習会検定資料作成・編集
- ・競技規則翻訳・編集
- ・B級審判員活動促進事業
- ・各日本選手権大会への審判員の派遣

⑥ アイスメイク研究会事業

- ・アイスメイク研究会 Web 会議
開催日程：随 時
- ・アイスメイクライセンス取得講習会・検定
開催日程：2025年7月7日（月）～ 8日（火）
開催場所：WEB 講習会・検定
- ・アイスメイクライセンスステップアップ研修会
開催日程：2025年6月16日（月）
開催場所：WEB 講習会
- ・大会派遣事業
アイスメーカー派遣及び JCA ストーン・ブレード使用
- ・JCA ストーン・スクレーパーブレード維持管理
JCA スクレーパーブレード研磨料
- ・JCA ブレードの購入
パワースクレーパーブレード 3 本目

⑦ 各種大会の開催日程及び開催場所

○第6回日本ミックスカーリング選手権大会

開催期間：2025年8月21日（木）～ 24日（日）

開催場所：長野県：軽井沢町 軽井沢アイスパーク

担当競技委員：_____

審判長：_____

アイスメイク：_____

参加チーム：12 チーム（6チーム2ブロック）

各ブロック2チーム+前年度優勝ブロック・準優勝ブロック各1チーム

○第23回日本シニアカーリング選手権大会

開催期間：2025年11月21日（金）～24日（月・祝）

開催場所：北海道：妹背牛町 妹背牛町カーリングホール

担当競技委員：_____

審判長：_____

アイスメイク：_____

参加チーム：

男子：北海道4、東北2、関東1、中部1、西日本1、開催地1 計10チーム（2ブロック）

女子：北海道2、東北2、関東1、中部1、西日本1、開催地1 計8チーム（2ブロック）

欠場枠＝前年度の対象年齢登録者数によって割振りを行う（北海道は優先順位1位）。

※日本協会として派遣費用の一部助成

○第16回全日本大学対抗カーリング選手権大会

開催期間： 2025年12月4日(木)～12月7日(日)

開催場所： 青森県：青森市 オカでんアリーナ(青森市スポーツ会館)

担当競技委員： _____

審判長： _____

アイスメイク： _____

参加チーム：選手全員が同一の大学に在籍する学生である事。

○第21回全国高等学校カーリング選手権大会

開催期間： 2026年 1月22日(木)～25日(日)

開催場所： 青森県：青森市 オカでんアリーナ(青森市スポーツ会館)

担当競技委員： _____

審判長： _____

アイスメイク： _____

参加チーム 男女各5チーム

北海道：1 東北：1 関東中部：1 西日本：1 開催地：1

○第19回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会

開催期間： 2026年 3月 2日(月)～3月 8日(日)

開催場所： 青森県：青森市 オカでんアリーナ(青森市スポーツ会館)

担当競技委員： _____

審判長： _____

アイスメイク： 派遣対象

参加チーム：前年度優勝1 前年度準優勝1 強化委員会推薦6

北海道：2 東北：2 関東：2 中部：2 西日本：2 計18チーム

※前年度枠が辞退の場合は3位には下げず強化枠に枠を移行する

※競技方法：予選1次・2次リーグ・準決勝・決勝

※前年度優勝、準優勝枠選手の出場確認を事前に行う。強化委員会での確定及び周知が必要。

○第34回日本ジュニアカーリング選手権大会

開催期間： 2026年 3月16日(月)～22日(日)

開催場所： 北海道：札幌市 どうぎんカーリングスタジアム

担当競技委員： _____

審判長： _____

アイスメイク： _____

参加チーム：男女各8チーム

出場枠：北海道：3 東北：1 関東中部：2 西日本：1 開催地推薦：1

※出場辞退を辞退する場合は、2025年9月16日までに「出場辞退届」を日本カーリング協会会長宛に提出すること。

※出場辞退があった場合の他ブロックへの割当は、次の順番とする。東北⇒北海道⇒関東中部

○第22回日本車いすカーリング選手権大会

開催期間： 2026年 5月22日(金)～24日(日)

開催場所：北海道：稚内市 みどりスポーツパーク

担当競技委員： _____

審判長： _____

アイスメイク： _____

参加チーム： 6チーム（本州3・北海道3）

○カーリング日本代表決定戦

男子／女子代表決定戦

開催期間： 2025年 9月10日（水）～9月14日（日）

開催場所：北海道：稚内市 みどりスポーツパーク

担当競技委員： _____

審判長： _____

アイスメイク：派遣対象 _____

参加チーム

男子：

女子：

ミックスダブルス日本代表決定戦

開催期間： 2025年 9月24日（水）～9月28日（日）

開催場所：北海道：稚内市 みどりスポーツパーク

担当競技委員： _____

審判長： _____

アイスメイク：派遣対象 _____

参加チーム：

令和7年度 強化委員会 事業計画

強化委員会委員長 柳 等

1. 強化事業の目標・課題

1) 令和7年度目標

強化事業における最大の目標は、カーリング日本代表チームがオリンピック冬季競技大会、世界カーリング選手権大会において金メダルを獲得することである。

令和7年度の目標を、

- ① 第26回オリンピック冬季競技大会（2026／ミラノ・コルティナダンペッツォ）女子金メダル獲得、男子6位入賞、ミックスダブルス6位入賞
- ② 2026年世界女子カーリング選手権大会(WWCC)プレーオフ進出
- ③ 2026年世界男子カーリング(WMCC)選手権大会プレーオフ進出
- ④ 2026年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会(WMDCC)プレーオフ進出
- ⑤ 2026年世界ジュニアカーリング選手権大会女子・男子7位入賞
- ⑥ 2026年世界ジュニアミックスダブルスカーリング選手権大会(WJMDCC)プレーオフ進出

2) 課題

強化の基本方針は、各カテゴリーの強化チームを海外強化合宿に派遣し、国際競技力を向上させることである。この方針に沿って、強化戦略プラン、強化事業計画を策定し、実施する。エリート強化チームを複数認定し、海外強化合宿を行わせる。まずは2026年冬季オリンピック出場資格を獲得するために、オリンピック日本代表チームの強化を最優先とし、オリンピック最終予選による出場資格獲得も視野に入れて準備する。ハイパフォーマンスサポート事業を有効に活用し、日本代表チームのパフォーマンス向上を図る。

女子 上記の目標のほか、2025年パンコンティネンタルカーリング選手権大会(PCCC)での5位以内入賞、2026年WWCC出場資格獲得を目標の一つに設定する。さらに、強化チームのワールドカーリングチームランキング(WCTR)8位以内1チーム、16位以内2チームを目指す。

男子 女子と同様に2025年PCCCでの5位以内入賞、2026年(WMCC)出場資格獲得を目標の一つとする。また、WCTR16位以内1チーム、32位以内2チームを目指す。

ミックスダブルス エリート強化チーム3チームに海外強化合宿を実施させる。WCTR8位以内2チーム、20位以内1チームを目指す。

ジュニア ジュニア強化チームA（ジュニア日本代表）に海外強化合宿を実施させる。2026年WMDJCC日本代表チームを選考する。ジュニア男子・女子・MD日本代表チームはナショナルヘッドコーチ主導で計画的な強化活動を行う。U-18カーリングアカデミーを開催し、次世代カーラーの育成・強化を図る。

FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ(WUG) 令和8年5月に日本代表チーム候補（学生強化チーム）を選考する。

その他 エリート強化チームA・Bの選手（JOCオリンピック強化指定選手）は、国立スポーツ科学センター等でアスリートチェックを原則受診することとする。スポーツ医・科学研修を実施する。強化チーム（強化委員会推薦チームも含む）の選手ならびにチームスタッフのインテグリティ教育プログラム（コンプライアンス研修、アンチ・ドーピング研修）を実施し、受講状況管理を徹底する。

2. 令和7年度強化事業

- 1) 強化チームの指定および認定
- 2) エリート強化チームA・B 国内強化合宿の実施
- 3) ジュニア強化チームA・B 国内強化合宿の実施
- 4) ミックスダブルス強化委員会推薦チーム選考合宿の実施（6月19～22日，常呂）
- 5) WJMDCC 日本代表選考合宿
- 6) ジュニア夏季国内合同強化合宿の実施
- 7) ユースカーリングアカデミー（7月23～25日，軽井沢）
- 8) ジュニア強化チーム支援
- 9) インテグリティ教育プログラム（コンプライアンス研修，アンチ・ドーピング研修）実施（7～8月）
- 10) スポーツ医・科学研修実施（コンディショニング、メンタル）
- 11) 海外強化合宿（エリート強化チームA・B・C，学生強化チーム，ネクストエリート強化チーム，ジュニア強化チームA）の実施
- 12) ワールドカーリング国際大会日本代表選考
- 13) ワールドカーリング国際大会への日本代表チームの派遣，強化スタッフ，サポートスタッフの派遣，日本選手権大会・国際大会等の視察
- 14) エリート強化チームのフィジカルトレーニング合宿とアスリートチェック受診
- 15) 日本代表チーム・強化チームとの定期ミーティング
- 16) ナショナルチームコーチ・スタッフの定期ミーティング
- 17) ハイパフォーマンスサポート事業の活用
- 18) 他委員会との連携、執行役員会設置 WG への参加
- 19) 強化委員会会議開催
- 20) WUG 日本代表選考合宿（令和8年5月）

以上.

目標

- ・アンチドーピング規則違反ゼロの継続
- ・アンチドーピング啓発プログラムにおけるアウトリーチプログラムの実施
- ・競技会における医療救護体制案の作成

1 委員会の開催

- ・リモート年 4 回の実施（6 月・9 月・12 月・3 月予定）

2 ドーピング検査事業

- ・toto 費用申請
- ・ドーピングコントロールルームの設置。必要に応じてシャペロンの確保。検査と大会運営の調整
- ・NF として検査立会い

3 アンチドーピング啓発事業

- ・アンチドーピング教育活動年間計画作成
- ・各研修会講師派遣
- ・クリーンスポーツアスリートサイトへのリンクバナー
- ・競技会プログラムの啓発ページ
- ・JADA（WADA）e ラーニングの使用
- ・SNS の利用
- ・競技会におけるアウトリーチプログラムの実施

4 医科学情報提供

- ・各都道府県協会への連絡、ホームページへの掲載

5 医科学に関連する各講習会へ参加と情報提供

- ・アンチドーピング教育会議
- ・アンチドーピングフォーラム
- ・加盟団体スポーツドクター代表者会議
- ・アスレティックトレーナー連絡会議

6 トレーニング情報の提供

- ・研修会や合宿での講師派遣

7 競技会における医療救護体制案の作成

- ・ワーキンググループを中心に案を作成

8 スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー養成講習会新規受講者の推薦

- ・指導普及委員会と候補者の検討

1、委員会の開催

- ・web 会議は、毎月 1 回開催を基本とする。
- ・通報窓口に応じた場合や、コンプライアンス違反等の重大な案件が発生した場合は、必要に応じ随時 web 会議を開催し、事実調査等を行う。

2、ガバナンスコードに関する取り組みの実施

- ・地方組織等に対して、ガバナンスの確保やコンプライアンスの強化等を浸透させるための適切な指導や支援を行える体制作りを引き続き行い、全国事務局長会議でのコンプライアンス研修を実施する。

3、コンプライアンスに関する研修会の開催(web 開催含む)

役員、事務局を対象とした取り組み

役員、事務局を対象としたコンプライアンス&ガバナンスに関する研修を開催し、コンプライアンス強化と適正なガバナンスの確保を図る。

強化委員会と連携した取り組み

強化合宿等(ジュニア強化選手含む)で、選手及びコーチを対象としたコンプライアンス研修を開催し、「日本代表及び強化選手の行動規定」等への理解と認識の向上を図る。

競技委員会と連携した取り組み

審判員研修・検定で、コンプライアンス研修を開催し、コンプライアンス強化と適正なガバナンスの確保を図る。

指導普及委員会と連携した取り組み

JSPO 公認スポーツ指導者養成講習会にて「コンプライアンス&ガバナンス」研修を開催し、指導者としてのスポーツ・インテグリティ保護・強化への取り組みを推進する。

一般協会員に向けた取り組み

全国事務局長会議にてコンプライアンス研修を開催し、JOC、JSPO 等 HP 内の研修動画閲覧を一般協会員に促すよう案内する。

4、協会ホームページを活用した啓発活動

協会ホームページを活用し、「スポーツ・インテグリティ」を脅かす反社会的勢力との関わりの禁止、違法賭博等違法行為への関わりの禁止、人種差別の禁止、アンチハラスメント、暴力行為根絶等への取り組みを推進する。

5、上部団体等(JOC, JSC, JSPO 等)の開催する研修会への参加及びアンケート調査への協力

上部団体、関連団体の研修等に理事等も含め積極的に参加し、コンプライアンス強化及び適正なガバナンス確保に努める。

令和7年度 環境特別委員会 事業計画

環境特別委員会委員長 梅原 尚佳

*委員会の運営

- ・委員会開催 4回程度（3～4ヶ月に1回を目安にWEB会議を開催）

*環境保全活動

- ・JCA 主催大会・イベントにおける参加者・スタッフによる環境保全活動
（参加選手・スタッフ・観客のゴミの分別、持ち帰りの徹底等）
- ・廃棄物の削減に向けた取組の検討
（大会プログラムのデジタル化等の紙媒体の削減、大会会場の廃棄物削減等）
- ・競技特有の環境保全活動の検討
（用具の手入れ・修理に関する情報の発信、不要な用具の再利用法等）

*環境啓発活動の実施

- ・環境啓発横断幕の掲出
（日本ジュニア選手権・日本選手権・日本 MD 選手権・地方大会・JCA スクール等）
- ・各協会カーリング施設への環境啓発ポスター掲示
- ・環境啓発 DVD の活用（日本ジュニア選手権等）
- ・環境関連情報の収集・分析及び JCA 内・各協会との情報共有
（上位団体・他の競技団体・地方自治体の取組事例の収集・分析、収集情報の共有等）
- ・環境啓発活動に関する情報発信方法の検討
（SNS 活用、環境啓発ポスター・横断幕の製作・更新等）

*JOC スポーツ環境専門部会の会員としての活動

- ・JOC スポーツ環境専門部会会議・スポーツと環境地域セミナーの参加
- ・JOC スポーツ環境専門部会のアンケート、広報活動等への協力

*大規模大会開催時の環境施策の検討

- ・日本カーリング選手権大会 横浜 2025 環境施策の振り返り
（視察結果整理、アリーナ開催時の課題・検討事項分析等）
- ・JCA 主催大会・他の競技団体主催大会の視察
- ・他の競技団体・地方自治体・環境関連事業者等との意見交換・ネットワーク構築

*その他

- ・SDGs に関する情報収集・分析及び取組の検討
例：国内外スポーツ界における取組状況等の情報収集・分析
例：SDGs に関する具体的な取り組みの検討

令和7年度 マーケティング委員会 事業計画

マーケティング委員会委員長 日下 稔

1. 委員会の開催

- web 会議を定期的に行い事業進捗状況の確認、情報共有をする。

2. 収益化の推進

- 日本選手権、日本 MD、日本代表決定戦における有料観覧の検討と運用管理。
- 主に上記大会における大会協賛社の獲得。
- JCA 公式、公認グッズ制作協力。
- 上記グッズ販売協力者との契約、連携。
- JOC×NF ジョイントマーケティング対応。

3. 対外広報活動

- テレビ局と大会放送に関する各種調整。
- 日本選手権、日本 MD における YouTube 等での大会動画配信に関する各種調整。
- マスメディア、WEBメディアへの情報発信と管理。
- 協会公式ソーシャルメディアを通じた情報発信。
(オリンピックの年度でもありカーリング沿の配信は通常より多い 30 回程度の予定)

4. 協賛社の契約書精査

- 事務局、顧問弁護士と連携し、契約にあたって契約書の精査、確認。
- 協賛社カテゴリーガイドラインの策定。

5. JCA ホームページ改修整備

- 事務局、総務委員会と連携し、新機能の設計や視認性・ユーザビリティを高めるデザイン制作、CMS の見直し等を実施する。(2030 年度までの継続事業)

6. その他

- 日本選手権横浜開催に向けて関係各所と調整。
- マーケティング外部委託スタッフとの様々な連携。
- JCA マーク商標登録更新。
- 世界選手権(女・男・MD)における情報発信体制に関する検討

令和7年度 アスリート委員会 事業計画

アスリート委員会委員長 山口 剛史

【目的】

競技・選手に関する事項、競技の発展、振興、普及に関する事項、社会的貢献や選手の活動、生活に関する事項について競技力向上のための環境をより良くして行く為に意見や情報を審議、精査し、理事会に提案する事を目的とする。

1. 委員会の開催

- ・ 年4回以上の委員会を開催する

2. 意見集約事業

全国のアスリートからの意見集約の実施、集約した意見・課題解決へのアプローチ

- ・ JCC 及び JMDCC 大会後のアンケート実施
- ・ JCC 及び JMDCC 大会組織委員会へ改善点提案
- ・ 地方ブロック活性化支援

3. 情報発信・広報事業

アスリート委員会ホームページ管理、ならびに周知活動

- ・ ホームページの改善や SNS の活用検討、チラシ作成・大会での配布などを通してアスリート委員会の活動内容の周知を行う

4. アスリート支援事業

目的：子育て等の家庭生活とカーリングの両立ができるような環境整備を推進するため、子育てをしながらも安心して大会に出場することができるよう、大会期間中の育児環境をサポートする

- ・ アスリート子育て支援
- ・ キッズスペース設置

5. ジュニア育成事業（指導普及委員会及び強化委員会と協力して実施）

トップアスリートによるジュニアカーリング講座の開催

- ・ 内容：「ジュニア育成の活動促進」を目的とし、アスリート委員会・指導普及委員会・強化委員会と共同で行い、オンラインのカーリング講座を開催することでジュニア層の強化及び活動促進を図る
- ・ 対象者：日本カーリング協会に登録する（または登録予定がある）、21歳以下の選手
- ・ 募集定員：100名程度

6. 物販事業（マーケティング委員会と協力して実施）

カーリングカレンダーの作成・販売

- ・ 内容：カーリングの認知拡大、ファン獲得及び「資金調達の強化」を目的に物販を行う
- ・ 販売方法：オンラインショップ BASE、JCA 主催大会での会場販売等（予定）

7. アスリートキャリアデザイン事業

- ・ 目的：アスリートの競技活動（選手生活やスポンサー関係）を始め、競技外でのキャリア構築や、選手活動引退前後に関わらず選手の環境を豊かにしていくため、幅広い知識や理解を深めていく
- ・ オンラインワークショップ

8. 普及事業

- ・ 関空アイスアリーナ環境整備（指導普及委員会と協力して実施）
- ・ JCC 宣伝イベント等への協力
- ・ YouTube カーリング沼の出演及び出演依頼

9. 個人賞創設事業

- ・ 目的：これまでの優勝チームの MVP 賞に加えて、大会に参加した全選手賞を対象とする新たな賞を創設することで出場する全ての選手に平等に個人賞の機会を与え、勝敗に関わらずカーラーとしての誇りやスポーツマンシップ・カーリング精神の向上を図る

1. 中長期計画に基づく国際戦略策定
 - ・ 人材育成、派遣事業
 - ・ 国際大会誘致等事業
2. 委員会開催
 - ・ Web 会議（Zoom 等。年6回程度。特に World Curling 総会直前・OpenMeeting 直前）
3. 関係機関との連携
 - ・ World Curling・他 MA 等団体との折衝
 - ・ 依頼要請等発生により随時
 - ・ JCA 各委員会との連携
 - ・ 各委員会委員異動に伴う国際委員会委員指名要請（必要に応じて）
 - ・ Annual General Congress（AGA: 年次総会）等に向けた JCA 意思確認
 - ・ その他随時
4. 人材派遣
 - ・ World Curling 関連会議への評議員、事務局員派遣
 - ・ World Curling 総会（おそらく 2025/09 @ゴールドコースト）
評議員に加え事務局長もしくはその代理を派遣することを計画
 - ・ Open Meeting（おそらく 2026/03-04（世界選手権開催時）
 - ・ World Curling 委員会・ワーキンググループ等への人材送り込み
5. 人材育成
 - ・ 国際的人材の確保
 - ・ World Curling Academy への参加斡旋、アイスメイクセミナーの誘致計画
 - ・ 国際人アカデミーへの受講者推薦（可能であれば）
 - ・ 国際審判育成（競技委員会と連携）
 - ・ 国際活動に興味のある人材の掘り起こし
6. 国際大会招致準備
 - ・ JCA 役員、国際委員会委員の World Curling 主催イベントへの視察派遣
 - ・ 招致に向けたワーキンググループをマーケティング委員会等と連携して設立
7. 情報発信
 - ・ 協会 Web サイト等の活用（総務委員会と連携）
 - ・ 国際人材掘り起こしに向けた布石として
8. 情報収集
 - ・ 国際大会誘致に向けたノウハウ等情報収集
 - ・ JOC や他競技 NF との連携
 - ・ Curling Canada 等、既存成熟 MA からのノウハウ獲得
9. 予算案
 - ・ 別添の事業予算書参照